



◆花き全般

高温と降雨により環境の負荷が作物にかかっています。生育状況の変化を注意深く観察し、管理をおこなひましょう。

定植や台刈りをした品目は栄養成長期のため、ここでの伸長が収穫時の規格に大きく影響します。降雨が少ない場合は定期的に灌水をおこなひましょう。散布は、涼しい時間帯にしてください（やけ防止）。夕方の灌水は伸長しやすくなりますが、ハウスのものは締め切ると灰色かび病発生要因となります。換気、散布時間の考慮をお願いします。

また、入梅する前に立枯病、灰色かび病等の病気が発生する前の予防防除が重要です。事前の殺菌剤散布をお願いします。灰色かび病発生温度 5～30℃

- ・トップジン M 水和剤 1,500 倍

アザミウマ類は、極小の虫のため目視が難しいですが、「誘引粘着シート」の設置がオススメです。

誘引粘着シートを積極的に使用しましょう。発生が目に見てわかります。

青色 アザミウマ類 黄色アブラムシ類

- ・ピタットトルシー 100 枚 黄、青 @3,888 円

ピタットトルシー 25 枚 黄 @1,080 円

除草

除草の際は、殺虫剤等の薬剤散布をしてからもしくは、除草後直ちに防除をおこなって下さい。雑草が取り除かれると害虫が栽培品目に群がります。

◆トルコギキョウ

上枝整理は進んでいますか。中心花が確認できる圃場が増えてきましたので、上位分枝が決定します。圃場にて中心花を取り、八重品種は 4 枝整理に取り組んでください（一重は 5 枝程度）。早めに上位分枝を決めると何度も枝整理に入らずに済むため効率的です。

大輪品種は、1 花 1 蕾まで芽整理を圃場で必ずおこなってください。圃場芽整理で花が充実します。

オンシツコナジラミ発生圃場があります。白い小さい虫が飛んでいたなら早めに散布してください。虫ふんで黒くなり、灰色かび病が発生します。多発してしまうと対処が困難となります。

- ・コルト顆粒水和剤 4,000 倍 オンシツコナジラミ、アブラムシ類
防除は、生育ステージによって防除暦をご覧ください。

ピタットトルシー(黄色)設置で誘引捕殺もあわせて行いましょう。

トルコギキョウ上位分枝整枝留意点

中心花 5mm 確認できたら取り、

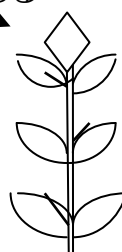
上位分枝 4 本も決める

(葉の中に 1 節あり)

分枝は大きさが

揃うように選ぶ

(開花揃うように)



残さない分枝は早めに
側枝 2～3mm のものも
傷をつけておく

◆アスター

高温多湿のため灰色かび病、赤さび病に注意してください。灰色かび病は、上位部の葉に灰色の菌糸が発生し、褐色になるなどの症状が現れます。さび病は、葉に赤い小斑点ができます。

- ・トップジンM水和剤 1,500 倍 灰色かび病
- ・ストロビーフロアブル 2,000 倍 さび病

◆ソリダコ

イベント（お盆、彼岸）があるときに必要があります。台刈りをおこなってください。
8 月盆向け台刈り時期 6 月 1 日～5 日頃

さび病が発生しています。さび病発生温度 9～18℃で良好

- ・ストロビーフロアブル 2,000 倍 さび病

◆コギク、輪ギク

◎追肥後、土寄せをなかまでしっかりおこないましょう。

量販向けコギクは、太さは 5～6 mm が理想です。

- ①細め、短い、葉色が薄い、上位部葉が小さい（「うらごけ」原因は肥料切れ）の場合は、メリット青 600 倍 の定期防除に液肥を混合して散布しましょう。
- ②太めのものを取り除き、圃場全体が揃うようにしましょう。
- ③下葉が枯れている場合は、土寄せと灌水を行うことで症状が軽減します。高温によるやけが原因。
- ④降雨があり湿度が高いため、白さび病、黒さび病（夏病斑）の発生が懸念されます。葉裏を確認し、早期発見と防除をしましょう。発生温度 0～25℃
発生初期

- ・ラリー乳剤 3,000 倍 または 白さび病治癒効果高い。
- ・ストロビーフロアブル 2,000 倍 抵抗性がつかないよう
ローテーション防除を心がける。

薬剤散布量 10a 当たり 200ℓ ～ 300ℓ

【JA 中野市園芸課】

担当：荒井、久野

Tel: 0269-23-3933